整数列 $\{L_n\}$ の項数を $N(\geq 3)$ とおく。$\{L_n\}$ は広義単調増加であるとしてよい。

$\{L_n\}$ から第 $i, j$ 項 $(i < j)$ を選んでそれぞれ $a = L_i, b = L_j$ とおき，

$$a + b \leq L_n \tag{1}$$

をみたす最小の $n$ を $l_{a,b}$ とおく。ただし，$\{L_n\}$ の最後の項が $a + b$ より小さいとき，およびそのときのみ，(1) を満たす最小の $n$ は存在しないから，そのときは $l_{a,b} = N + 1$ とおく。

$\{L_n\}$ の単調増加性により，整数 $k$ が閉区間 $[j + 1, l_{a,b} - 1]$ に含まれるとき，およびそのときのみ，$L_k$ は次を満たす：

$$b \leq L_k < a + b \tag{2}$$

ここで，$1 \leq a \leq b \leq c$ のとき，

$$\begin{cases} a < b + c \\ b < c + a \\ c < a + b \end{cases} \iff c < a + b$$

であるから，すべての $a, b$ の組合せに対して (2) を満たす $L_k$ の個数，すなわち

$$\sum_{i=1}^{N-2} \sum_{j=i+1}^{N-1} \max\{(l_{a,b} - 1) - (j + 1) + 1, 0\}$$

が求める値である。